

Frente



2024. 6

vol. 97

事業Report

- 男女共同参画フォーラム～みえの男女^{ひと}2024～
シオリヌさんスペシャルトーク
「私が選びとるワタシの人生」
- 近未来リーダー☆育成プロジェクト
- 調査研究事業
「発信者が知っておきたい
いま求められるジェンダー表現」
- ホワイトリボンラン2024 in みえ ほか

事業ご案内

- 自分にOK 自分にYES!
女性のための自己尊重トレーニング

新連載!

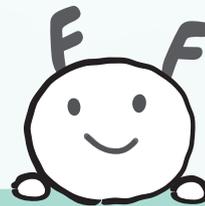
- 新連載! スタッフコラム
“気づき”の綿帽子

「いつかではなく『いま』」行動の時。

特集!

いよいよ開幕!

フレンテみえの30周年



いよいよ開幕！フレンテみえの30周年



“いつか”ではなく『いま』=行動の時。

今年だけの記念事業とともに、特別なアニバーサリーイヤーを!

三重県総合文化センターが開館して今年で30年。建物エントランスには装飾がされ、知識の広場では、アーティストと子どもたちが描く「みらいのみんなのそうぶん広場」が始まりました。館内には来場者の皆様から「ミライ」への希望が書かれたガーランドが飾られ、華やかな1年がスタートしました!



30周年記念事業

『ニキ・ド・サンファル展』を開催!

フレンテみえも「三重県女性センター」として開館してから30周年。そのアニバーサリーを記念して、フレンテみえでは、知識の広場でいつも皆さんをお迎えしているあの大きくて鮮やかな彫刻「La Grande Temperance (中庸)」、通称「ナナ」を生み出したフランス生まれの女性美術家ニキ・ド・サンファルの作品を一堂に集めた「ニキ・ド・サンファル展」を開催します。



ニキ・ド・サンファルの人生

大恐慌の翌年1930年に生まれたニキは、典型的な家父長制の家庭で育ちます。モデルとして有名誌の表紙を飾るも19歳で結婚し、翌年母となりパリに移住します。その翌年には重度の精神疾患のため入院療養することとなりました。絵を描くことが治療に有効と知って芸術家を志ざし、1961年、絵具を入れた缶や袋を石膏の中によって埋め込み、そこに向けて銃を放つことで完成する「射撃絵画」で一躍有名となります。これは「攻撃」的行為を女性のニキが行うことでジェンダーイメージを覆す試みでもありました。しかし、この射撃という行為に対して中毒性を感じたニキは、約2年間でこの手法に終止符をうちます。

その後は「花嫁」「妊娠」「出産」などをテーマに作品を次々と生み出す一方で、「娼婦」や「魔女」といった苦しみで満ちた作品も制作しました。これらの作品と向き合う中で、父親から叩き込まれた「女性の性別役割」が内面化されていることを直視します。そんな中、友人が妊娠して豊満になっていく姿からインスピレーションを得て、《ナナシリーズ》が誕生しました。自由でのびやかで陽気で元気なナナたち。作品の表現は変わったものの、ニキの中にある問題意識はずっと変わりませんでした。自由でエネルギーに満ちた女性であっても裏側には苦悩があり、ニキはそれを「コインの裏表」と表現していました。



撮影：黒岩雅志

1971年、ニキは制作のパートナーであるジャン・ティンゲリーと2度目の結婚をします。男性美術家に女性美術家がつぶされることも多かった当時の美術界で、ティンゲリーは決してニキの夢を奪うことはせず、対等なパートナー関係を続けました。その翌年、ニキは自身の父親の逝去後、父親からの性的虐待とその復讐を描いた自伝的映画「ダディ」を制作します。忌々しい関係を映像化することで父親に対する愛憎と向き合いながら、鮮やかなナナシリーズとは対照的な現家族を表現した立体作品も制作していました。

1978年から20年の歳月をかけて、イタリア・トスカーナにタロットカードをモチーフにした彫刻公園「タロット・ガーデン」を完成させます。その中でニキは、チームリーダーとして作品の制作はもちろん、建築や工学分野でも手腕を発揮しました。また、建築費を集めるために家具や香水、花瓶などのシリーズも制作するなど、総合プロデューサーとしての一面も見せました。ちなみにこの「タロット・ガーデン」は、一般公開されていますが旅行ガイドにも載っておらず、開園時間も数時間程度とのこと。辿りつける人がいたら、それはニキに招かれたのかもしれない。

ニキに染まる、そうぶんの夏!

今回の展覧会では、「射撃絵画」やパートナーであるジャン・テインゲリー氏との共同作品「世界」の他、「ナナ」シリーズを中心に色鮮やかな版画や絵画が100点以上やってきます。ニキという立体作品をイメージされる方も多かもしれませんが、平面作品のもつ世界観やメッセージ、鮮やかな色使いにも強くココロが揺り動かされます。

ぜひ今から“わくわく”心を膨らませながら、お待ちください!

8/31 ▶ 9/23 ニキ・ド・サンファル展



日時 8月31日(土)~9月23日(月・祝)
※休館日を除く 10:00~17:00
9/14、9/21は19:00まで

会場 三重県総合文化センター内 三重県文化会館 第1ギャラリー
観覧料 800円(高校生以下無料)

助成:公益財団法人 岡田文化財団
後援:独立行政法人 国立女性教育会館
協力:(株)スペースニキ、三重県立美術館、三重県総合博物館(MieMu)

ニキを深める関連事業も続々!



撮影:黒岩雅志

展覧会に先駆け7月には、ニキの作品に偶然出会い美術館を設立する夢を実現した日本人女性「ヨーコ」こと増田静江さんの人生について、元ニキ美術館館長の黒岩有希さんにお話しいただくミュージアムセミナー「ニキとヨーコ~下町の女将からニキ美術館を建てるまで~」を、三重県生涯学習センターとの共催で開催します。

こちらも併せてお楽しみに!

7/21 フレンテみえ×三重県生涯学習センター

みえミュージアムセミナー特別編

「ニキとヨーコ ~下町の女将からニキ美術館を建てるまで~」

事前申込制
(先着順)

日時 7月21日(日) 13:30~15:00

会場 三重県総合文化センター内 三重県文化会館 小ホール

対象 テーマに関心のある方(未就学児の入場不可)

参加費 無料

講師 黒岩 有希さん(元ニキ美術館館長)

託児 なし

申込 三重県生涯学習センター

TEL:059-233-1151

さらに9月には、ニキの熱烈なファンでニキ本人とも交流があった社会学者、上野千鶴子さんをお招きしての講演会「ニキと私」も開催! 作品についてのお話やニキが上野さんの人生にどのような影響を与えたのかなど、たっぷりとお話しいただきます。上野さんならではのエピソードも聞くことができる貴重な機会です。

上野さんがフレンテみえ主催事業でそうぶんを訪れるのは2011年6月以来、約13年ぶり!

どんなお話が飛び出るか、乞うご期待!

9/14 フォーカスみえ 上野千鶴子講演会「ニキと私」

日時 9月14日(土) 13:00~14:30

会場 三重県総合文化センター内 三重県文化会館 中ホール

対象 テーマに関心のある方

参加費 500円(「ニキ・ド・サンファル展」ご招待券付き)

定員 500名

講師 上野千鶴子さん

(社会学者・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長)

託児 あり 要事前申込 1歳6ヶ月~小学3年生程度 子ども一人につき500円 託児申込締切8/31



© 後藤さくら

フレンテみえの正面に立つ「ナナ」。実は「タロット・ガーデン」にも同じ形の翼が生えたナナがいます。

この作品はタロットカードの16番「節制」がモチーフで、そのカードが意味するのは『愛と寛容にあふれるエネルギー』。

30年間、フレンテみえを背景に「愛と寛容」を発信し続けてくれていたナナ。今年の夏にやってくるたくさんのニキ作品たちと共に、このナナの「愛と寛容」のエネルギーもぜひ間近で感じてみてくださいね!

事業予告

7/20 ▶ 7/21

自分にOK 自分にYES!

女性のための自己尊重トレーニング

あなたは自分のことを大事にできていますか。周りの人を優先して自分を後回しにしていますか。自分を認めることが苦手ではありませんか。自分のことを「よし」と思っていますか。

相手に自分の気持ちが伝わらない…自分が本当はどうしたいのが気づいていますか。

本講座は自分のことを「よし」と思えるようになること、自分も相手も大切にコミュニケーションを学ぶこと等を目的に実施します。

「自己尊重感」とは何かを一緒に考え、学び、自分を大切に、自分を信頼する力を育てていきましょう。

事業案内

日時	7月20日(土)・7月21日(日) 10:00~16:00
会場	三重県総合文化センター内 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」2階 セミナー室A
対象	2日間とも参加可能な県内在住・在勤・在学の女性
参加費	無料
定員	24名(応募多数の場合抽選) 申し込み締め切り 6月30日(必着)
講師	増井 さとみさん(ウイメンズカウンセリング名古屋YWCA所属 フェミニストカウンセラー)
託児	あり 要申込 1歳6ヶ月~小学3年生程度 1子ども1人につき500円(申し込み時にお知らせください)



6/2 ▶ 10/26

三重県内男女共同参画連携映画祭2024

「男女共同参画週間」のある6月を中心に、三重県のみなさんに、「男女共同参画」を身近に感じていただくきっかけにと始まった映画祭。18年目を迎える今年は、4センターと19市町が連携し、県内17会場で開催します。チケットの取扱い方法や受付開始日は会場ごとに異なりますので、お気軽にお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしております!

開催日、上映作品
など最新情報は
こちらから!



三重県内
男女共同参画
連携映画祭
2024

募集期間:7月31日まで

「性別」に関する

モヤモヤ

エピソード募集中!

フレンテみえでは、私たちの身の回りにある『性別』にまつわる様々な生きづらさをマンガにした冊子を作成予定。この冊子に登場する「性別」を巡るエピソードを皆さんから募集します!

応募いただいた方の中から抽選で30名様にフレンテみえ主催「ニキド・サンファル展」無料招待券をプレゼント!

ご応募・詳細については [こちらから](#)



募集テーマ

① モヤモヤエピソード部門

「性別」にまつわる、自分がモヤモヤしたエピソード

② いいね! エピソード部門

「性別」にまつわることでモヤモヤを感じていたが、誰かの一言や助けでモヤモヤが晴れたエピソード

事業報告

Event Report

調査研究事業「#わたしたちのジェンダー」プロジェクト 発信者が知っておきたいいま求められるジェンダー表現

開催日 3月16日(日)

数多くのフォロワーを抱え、多くの人の共感を得ているWEBメディア「Palettalk(パレットトーク)」。その編集長であり、有名ドラマのジェンダー考証を務めるなど注目されている合田文さんを講師にお迎えし、「情報発信とジェンダー」をテーマにセミナーを行いました。

合田さんは世の中にあふれる不適切な表現の根底には特定の属性に対する「アンコンシャス・バイアス」が潜んでいて、自分自身が知らず知らずのうちにマジョリティの立場(強い立場)に立っていることがあることに気づき、意識することが大切だとお話しされました。さらに、県内で話題になっていたトピックスなど様々な事例を織り交ぜながらお話しされ、参加された方もうなずきながらお話を聞いていらっしゃいました。



事業報告

Event Report

フレンテみえ種まきプロジェクトII “働く”編

近未来リーダー☆育成プロジェクト step4 チーム力向上のためのレクチャー

開催日 1月27日(土)、2月10日・24日(土)



フレンテみえの人財育成事業「種まきプロジェクト“働く”編」、5年継続企画の4年目となる今回のテーマは、「チーム力向上のためのレクチャー」です。オンデマンドの基調講座から始まり、チームビルディング(オンライン)とファシリテーション(オンライン+現地)の計3回、皆さんにご参加いただきました。

チームビルディングの講座では、多様性のあるチームを運営する意義や心理的安全性についてグループワークを交えながら学びました。ファシリテーションの講座では、“場づくり”のポイントや話を引き出す問いかけ方など、話し合いを効果的に進めるための手法を、実践を交えて学びました。

ご参加いただいた皆さんからは、「チームのことを客観的に考える機会となった」「ファシリテーションという言葉を通してリーダーの姿を学べた」という声をいただきました。

ホワイトリボンラン2024 inみえ

開催日 3月3日(日)

国際女性デーに向けて世界中の女性の健康を願い、みんなで同じ公式Tシャツを着て走る「ホワイトリボンラン」。全国各地で開催されるこのイベントのみえ拠点会場として開催しました。

当日は少し肌寒い日でしたが、晴天に恵まれランニング日和となりました。参加者の中には国際女性デーにあわせてミモザの花を持ってこられた方も! そんな温かな心づかいにも彩られて、参加者全員で和やかな雰囲気でも走りました。

ファンランナーコース3kmとチャレンジランナーコース6kmの2つのコースを設定しましたが、どちらのコースの参加者も全員完走! ゴールテープを切るときは写真を撮りながら楽しいひとときとなりました。

自分の健康のため、そして世界の女性の健康のために走るイベント。次回はあなたもチャレンジしてみませんか?



フレンテみえパートナーグループ・サポーターのみなさんの交流イベント みんなで楽しく交流会! 「フレレク」 Frente-Recreation

開催日 2月12日(月・祝)

フレンテ・レクリエーションを略して「フレレク」。フレンテみえに登録していただいているパートナーグループ(団体)やサポーター(個人)の皆さんが集まって、交流を深める会です。例年2月頃に開催していますが、今年は久々の現地開催! ヨガをベースとした身体ほぐしで心も体もリラックスしながら交流を深めました。

これまでではグループの皆さんたちによる、杵と臼でつく本格的な「餅つきイベント」が大好評で、ご家族や友人とご一緒に参加していただいていたいました。次回の開催については12月ごろのご案内を予定しています。どうぞお楽しみに!



パートナーグループ・サポーター登録制度については [こちら](#)

男女共同参画フォーラム ～みえの^{ひと}男女2024～

「CHOICE! 私が選びとる ワタシの人生」

フレンテみえが3月8日の「国際女性デー」に向けて毎年開催している「男女共同参画フォーラム」。今回は、助産師そして性教育YouTuberとして多方面で活躍されているシオリーヌさんをお迎えし、あなたが自分らしく生きる道を自分で選んでいくための、たくさんのヒントやメッセージをおうかがいしました。そのなかから(ほんの一部ですが)、情報誌の読者の皆さまへ誌上Reportとしてお届けします!

シオリーヌさん スペシャルトーク /

皆さん、こんにちは。助産師のシオリーヌ、本名は大貫詩織と申します。助産師、看護師、保健師などのいわゆる看護系の資格を持ちながら活動をしています。2019年からは、性教育の情報にもっともっと気軽にアクセスできる機会を作りたいと思い、YouTubeに自分のチャンネルを開設して動画を配信するようになりました。今は性教育だけでなく、自分が出産したことをきっかけに「産後ケア」などにも関心を持つようになり、関連事業を立ち上げたりしています。



どうして「性教育」に関心を抱くようになったのか

総合病院で勤務を始めた時、たくさんのお母さんたちとお話をする機会がありました。出産を終えたお母さんたちと産後の家族計画や産後の避妊のことなどを話していると、避妊のことをこうやって人からちゃんと習ったのは初めてですと、びっくりされることが結構あったんです。本来であればこういう知識はもっと早く、自分の人間関係や生活の中に生かしてほしい知識なのに、ここで初めて知るといのはタイミングが遅いと思いました。他にも、妊娠にはタイムリミットがあるということなどもお話すると、もっと早く知っていたら自分のライフプランも変わったかもしれないと話すお母さんたちもいらっしゃいました。もちろんそれが悪いわけではないですが、もっと早く知っていたらこうしたのという「後悔」が芽生えるような状況は変えなければならないのではと思ったんです。自分のライ

フプランを自分で決めていくために必要な知識を、思春期の頃や自分の身体が産み育てることができるようになる年齢の時には持っていて、その知識をもとに、自分が納得できる後悔のない人生を自分で選んでいくことが本当はすごく大切なはずなのに、その知識を得ることができない現状があるというのはすごく大きな問題だと。そこで初めて性教育への課題感を持つようになりました。また、病院や助産師のいる場を訪れる機会のないたくさんの方々や若い年代の方たちに対しても、基礎的な性の情報を届ける努力をしないといけない、そういう方たちに向けての発信が不足してるのではと感じたことが、私が性教育を伝えていこう、広げていこうと思ったきっかけでした。

性教育は「人権教育」

性教育ってどういうものを想像されますか? 生理の話とか妊娠のしくみ、避妊の仕方や生殖、産み育てることに関する知識を学ぶことが性教育、という方も多いのでは。もちろんそれらも大切な要素ですが、性教育の根本は「人権教育」だと私は思っています。ひとり一人が持っている当たり前の大切な「人権」について学ぶこと、自分と相手にある権利を知ること、その上で、人との接し方や自分が選択をする上で必要な知識を身に付けていくことが性教育であると思うんです。「SRHR (Sexual and Reproductive Health and Rights)」という言葉をご存知でしょうか? 「性と生殖に関する健康と権利」と訳されます。かみくだいて言うと、「あなたの身体、あなたの人生はあなただけのもの。あなたの身体や人生のことについて決める権利は、あなたにしかないですよ」という大切な考え方です。「性の健康」とは、性に関することについて、心も身体も満たされていて、その状態を社会からも認められている状態のこと。「生殖、産み育てることに関する健康」とは、妊娠したい人もしたくない人も産む産まないということにそもそも関心がない人も、みんな心も身体も満たされ健康でいられて、その状態を社会からも認められているということ。この「社会から認められている」には2つの要素があります。世の中に「選択肢」があること。そして、どんな選択をしても人からとやかく言われないうこと。この2つがそろった時に、自分の在り方は社会から認められているということになると思います。

この「SRHR」は、一人ひとりに生まれた時から認められなければならない、尊重されなければならない大切な権利です。そして、私たち大人が持っているのと同じように、子どもたちにも「SRHR」という権利があり、そのことを私たちは意識しすぎるぐらい意識しないとイケないと思います。子どもの権利って、大人が無視しようと思えばいくらでもできてしまうからです。子どもに関して親は代わりに決める権利がたくさんあります。先生もそうですね。コントロールして選択肢を制限してということが簡単にできてしまうのが大人。だからこそ大人の方が、この子の身体は、人生は、この子のものなんだ。この子が最後に決めるんだということを念頭に置いた上で日々の関わりを考えていく、というのが本当に重要です。自分が恋人を持つのか持たないのか、自分が性行為をするのかしないのか、最後に決めるのは若者自身であり、その子が自分で後悔のない納得のいく選択をできるように、その助けになる情報をきちんと伝えていくということが、大人の役割としてとても重要なのだと思います。



国際ガイドンスと「包括的性教育」

日本の性教育は遅れているとよく聞きますが、実は性教育には明確な国際基準が存在しています。ユネスコなど様々な国際機関が作った「国際セクシュアリティ教育ガイドンス」というものです。このガイドンスは8つのトピックに分かれています。一番初めにあるのは「人間関係」です。他の人と円滑な良い人間関係を築くというスキルが性教育に入っているんですね。ガイドンスは5歳から18歳まで、公的な学校などで提供される教育に向けて作られていて、ほかにもジェンダーへの理解や性暴力、人間の身体と発達など幅広い内容について、かなり具体的で綿密な学習目標として書かれています。日本の学習指導要領とこの国際セクシュアリティ教育ガイドンスを見比べてみると、なぜ日本の性教育が遅れていると言われるのが本当によく理解できます。

私はこれを見たとき、もし自分がこのカリキュラムで段階を追って継続的に大切な性の情報を学び続けることができたら、どれだけ安心して社会に出られたら、と感じました。このようなガイド

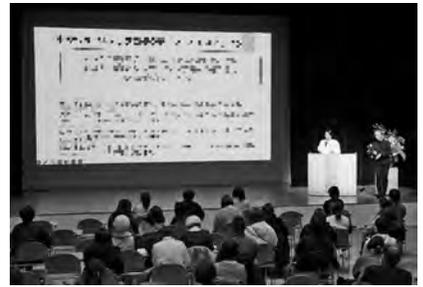
ンスに基づく「包括的性教育」について、動画を見てくれた若い年代の方たちからも、「今の性教育は足りないところがありすぎると思う」「男性も女性も偏りなく等しく性教育を受けられる世の中になってほしい」「私たちは性に関して学ぶ権利があるはずだ」などの声が寄せられています。この「学ぶ権利があるはず」という言葉を、私たちは本当に重たく受け止めなくてはならないと思います。

「包括的性教育」に対する反対の声として、いわゆる“寝た子を起こすな”というような意見がたくさんあります。しかし、このガイドンスに基づいた包括的性教育を受けた子どもたちに数年後どんな変化があったかという調査をみると、初めて性行為をする年齢が遅くなっていたり、避妊グッズを使う子が増えたり、高いリスクのある行為をする子は減っていたりというように、その後の行動が慎重になっていくということが、実際のデータとして明らかになっています。私たちはもう少し若い年代の子たち、お子さんたちを信じて、きちんと情報を届けていく必要があると思うのです。

困ったとき、どうするか

性教育が大事なのはわかるけど何から始めたらいいの、というお声もたくさんいただくので、私が以前出版した本で、とりあえずこれができたらオッケーという10の項目を挙げさせていただいています。

そのなかで私が一番大事だと思っているのは、「嘘をつかない」ということ。性に関する質問をお子さんから投げかけられたとき、ドキッとしてとっさに嘘をつきたくなる瞬間があるかもしれません。なぜ嘘を避けた方がいいのか。まず、お子さんは結構それを信じてしまうということ。そして、後で嘘と分かったとき、嘘をつかれていたんだとショックを感じてしまう、ということがあります。一度ついた嘘を撤回するのは難しいことです。ならば、初めから嘘だけは避けておく。お子さんから何か質問を投げかけられたときにパッと答えられないこともたくさんあると思いますが、そういう時は「一旦保留にする」をお勧めしたい。なるほど、それが知りたいのね。だけど今はなんて説明したらいいかわからないから、なにかいい絵本とかがないか調べてみるね。ちょっと探してみよう。やっついたらまた伝えるね、という感じで一旦保留にさせてもらう。今は性に関する教材になるようなコンテンツがいっぱいあります。絵本も本も動画もいろんなものがあるので、そういうものを見てみて、あ、この言い方ならできそうというのを見つけて代わりに後から伝えるっていうのもいいと思いますし、もし自分の口で説明するのにどうしても抵抗がある時などは、一緒にそれを見るだけでもいいと思います。親御さんも一緒に、学ぶ立場で一緒に見るというだけでも充分ではないかと思えます。「困ったとき、嘘はつかずに一旦保留」。なんか“一句”みたいになってしまいましたが、そんな形でやっていただけるといいなと思います。



スペシャルトークでは、残りの9つの項目もすべて丁寧にお話いただき、さいごに「まずは知ること、気づくこと。気づくことができれば行動に変えていくことができる」と力強いメッセージをいただきました。その他の様々な情報やトーク内でも紹介された性教育ドラマ「ユースクリニックへようこそ」などは、シオリーヌさんのYouTubeチャンネルで視聴できます。ぜひご覧ください!



【性教育YouTuber】
シオリーヌ

5歳からはじめる性のおはなし

『シオリーヌさんと考えよう! 大切なカラダのこと。』

午前のフォーラム分科会では、シオリーヌさんと子どもたちが、「大切なカラダのこと」について学び考える授業を行いました。

シオリーヌさんから絵本を聞いたり、自分たちのカラダのことや性について学べる「ここからかるた」を使ったゲームをしたりとユニークな方法も交えて、自分自身のカラダや性のことについてみんなで考えました。

シオリーヌさんは時折「みんなはどう思う?」と問いかけながら、子どもたちの考えなどをしっかりと受け止めながらお話を進めていて、ひとり一人の言葉をしっかりと受け止めて対話することの大切さが感じられました。

シオリーヌさんのモットーである『性的話をもっと気軽にオープンに』そのままの、楽しい学びの場となりました。



“気づき”の綿帽子 ~その1 短歌より~

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」所長 石井 由美

荻原前所長の後任として、4月から三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」所長に就任しました石井由美です。「フレンテみえ」での新しい出会いと新たな学びを楽しみに、頑張っていきたいと思います。

本が大好きな友人から毎月おすすめの歌(短歌)がメールで届きます。

あまり関心のなかったジャンルですが、現代短歌は話し言葉で詠まれていることもあって、楽しんで読んでいます。

特定の「異性」が「相手」に変はりたる 新明解に恋はたくさむ

『鏡の私小説』 栗原 寛

新明解とは国語辞典のことです。新明解国語辞典第八版では、「恋」「恋愛」など男女に関わる言葉の説明で使われていた「特定の異性」が「特定の相手」という表現に変わっています。

「異性」が「相手」に変わっただけ、いえいえ、これってすごいことです。恋愛の対象は異性だけではない、ということですから。これまでの固定観念を覆す大きな大きな改訂だと思います。そして、子どもたちが使うことの多い国語辞典ですから、

その影響力の大きさは、はかりしれません。この歌を読んで、性の多様性やアンコンシャス・バイアスについて考えたのは私だけではないと思います。

「人が社会生活を営んでいく中で色々な物事が生じ、その事態に対応するために言葉も生まれ変化していく——。社会と言葉は切り離せません」(新明解国語辞典出版部)

言葉は生きています。その時、その場面にあった言葉を丁寧に使わなければいけないと改めて思います。

「フレンテみえ」では、一人ひとりの個性が尊重され、一人ひとりの能力が発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、様々な視点・テーマをとりあげ事業を展開しています。皆さまが日々の生活の中で感じたこと、疑問に思っていることなどを聴かせていただき、共に考え、共に行動できる「フレンテみえ」でありたいと思っています。これまでも、これからも、どうぞよろしくお願いします。

幸せにならなきゃだめだ

誰一人残すことなく省くことなく

『ハッピーアイスクリーム』 加藤 千恵

このコーナーでは、今年度新たに就任したフレンテみえの新所長が、新たな立場として感じたこと、気づいたことなどを、4回にわたってお話してまいります。どうかのんびりお付き合いください。

フレンテみえって、なに？

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流および人材育成の「6本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください！

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ 検索 🔍

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど…
男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料

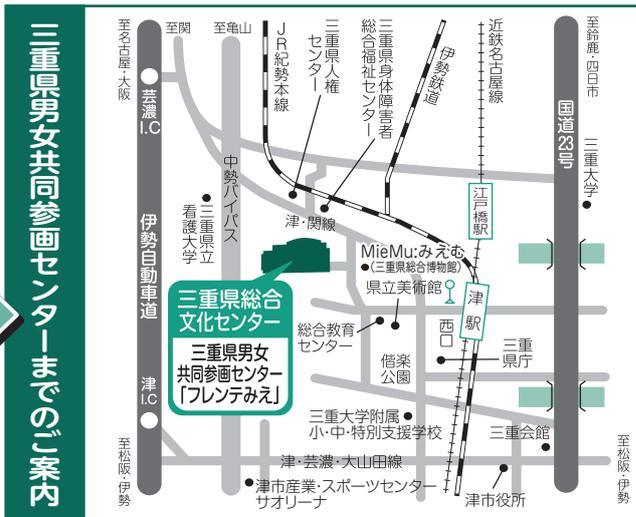
フレンテみえ相談室 専用ダイヤル **059-233-1133**

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00～12:00	休館日 ※	●	●	●	●	●	●	●
昼 17:00～15:30		●	-	-	●	●	●	●
夜 17:00～19:00		-	-	●	-	-	-	-

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

*このほか女性のための面接相談(法律相談・心理相談と、男性のための電話相談)も、男性的な相談を実施中。詳しくはお問い合わせください。

フレンテみえ相談室の「案内」(切り取ってご利用ください)



休館日 毎週月曜日 年末年始 (12月29日から1月3日まで)
交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分
■徒歩/津駅西口から約25分
■自転車/伊勢自動車道雲濃インターから約10分、津インターから約10分
※駐車場は1,400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 三重県総合文化センター
三重県男女共同参画センター フレンテみえ
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135
URL https://www.center-mie.or.jp/frente/
E-mail: frente@center-mie.or.jp

再生紙を使用しています。